特集

Pick Up News

中期経営戦略2024に掲げた、EX・DXの一体 推進による未来創造に向けたさまざまな取組が 進んでいます。2023年前半の主なトピックを ご紹介します。

2023

3月 March

- ●米国 ポートランド市に て賃貸住宅のスマート 化に関する実証実験に
- ●フィリピン共和国 南北 通勤鉄道延伸向け鉄道 システム一式契約締結

5月 May

Tech Growth Fund L.P. 設立 Marunouchi Climate



詳しくは 統合報告書へ



7月 July

- 再生可能エネルギーを活用した EV 中心の次世代 型タクシー営業所の運用を開始 P10^
- ●太陽光出力制御の低減に向けて福岡県田川郡香 春町で系統用蓄電池の運用を開始

8月 August

- サステナブルペットボトルのサプライチェーン構築 P11へ
- 千歳市とのカーボンニュートラルを目指したまちづくりに 関する連携協定の締結
- 米国キャメロン LNG 基地を活用した日本へのe-methane 導入に関する詳細検討へのセンプラ・インフラストラク チャー社の参画

3月

4月

5月

.

詳しくは

6月

7月

8月

4月 April

- ●東洋紡との機能素材分野における 合弁会社「東洋紡エムシー株式会 社一の事業を開始
- ●京都大学の起業支援プログラム新設 に向けた寄附



当社代表取締役 社長 中西 勝也(左)と 京都大学 湊 長博総長(右)

6月 June

- 藤沢市村岡地区/鎌倉市深沢地区 におけるヘルスイノベーションを核 としたまちづくりに向けたライフロ グ活用による「健康促進」及び「健 康見守り」サービスの実証実験開始
- チリ・Marimaca 銅鉱山プロジェクト への新規参画

9月 September

.

• 八代市におけるカーボンニュートラルの早期 実現に向けた取組に関する連携協定を八代 市、九州電力、NTTアノードエナジーと締結



統合報告書へ



Pick Up News

米国 ポートランド市にて 賃貸住宅のスマート化に関する実証実験に着手

米国において次世代スマートホーム開発を 手掛けるHOMMA Groupと共同で、連結子 会社であるDiamond Realty Investments社 (以下「DRI」)が米国オレゴン州ポートランド 市にて開発中の賃貸住宅の一部をスマート化 する実証実験に着手しました。

DRI、米国のデベロッパーAlamo Manhattan 社、九州電力の100%子会社であるKyuden Urban Development America社が、ポートランド市中心部近郊において開発中の賃貸住宅の一部住戸をスマート化**し、開発物件の付加価値向上を図る他、今後の住宅開発におけ



る商品企画への応用を検討することを目的としています。

※各種スマートデバイスの実装、センサーによる照明管理の 自動化・効率化及び時間帯に合わせたシーン設定による 調光・調色の最適化、空調の自動化、HOMMA社開発 アプリケーションによるスマートデバイス・物件の一元管理他

担当チームから

複合都市開発グループ 海外都市開発本部 北米事業統括室



国内外でのネットワークと豊富な実績に基づく知見等を活用し、幅広い分野の不動産の開発、マネジメント等を手掛けてきましたが、今後はデジタル革命の加速化により社会構造や生活様式が変化し、不動産、都市の在り方も大きく変化していくことが予想されます。環境の変化や社会のニーズの変化に応えた新たな価値を創出するため、161社のスタートアップ企業からの提案に対し協業候補先として8社を採択し、最適な協業手法・事業化のタイミングを含めて検討を進めています。都市や地域の特徴を活かしつつ、利便性の高く災害に強い、魅力ある自立分散型コミュニティ/スマートシティの実現を目指します。

ヘルスイノベーションを核としたまちづくりに向けた 「健康促進」及び「健康見守り」サービスの実証実験開始

NTTデータ、リンクアンドコミュニケーション、ピーステックラボ等と協力し、2023年4月下旬より湘南鎌倉総合病院に通院する妊産婦の方々、及び5月下旬より地元ロータリークラブ会員様をモニターとし、ライフログ*1活用による「健康促進」及び「健康見守り」サービスの実証実験を、神奈川県藤沢市村岡地区/鎌倉市深沢地区で開始しました。

対象の方にウェアラブルデバイスを配布し、そこから得られるライフログ*1をNTTデータが提供する健康管理システムやリンクアンドコミュニケーションが提供するAI健康アプリに活用し、見守りや健康意識の啓蒙を図ります。



ヘルスイノベーションを核としたまちづくりの検討が進む同地区において、PHR^{*2}の活用による次世代健康管理の取組を加速させていきます。

- ※1:生活や行動に関するデジタルデータ
- ※2:PHR=Personal Health Recordの略

担当チームから

複合都市開発グループ 都市インフラ本部 国内事業開発室、 コンシューマー産業グループ ヘルスケア本部 ヘルスケア部



地域の課題である少子高齢化に向き合い、「若い世帯層が住みたいと思うまちづくり」「高齢社会における地域の健康増進」を目指し、本実証実験を実施しました。ご協力いただいた病院、 妊産婦・ロータリークラブのモニターの方々には本実験の社会的 意義について丁寧に説明を重ねながら、取り進めてまいりました。

今後も、当該地区のヘルスイノベーションのコンセプト実現を目指し、同コンセプトに資する付加価値あるサービスを構築・ 実装しながら、魅力的なまちづくりに貢献していきたいと思っています。

8

再生可能エネルギーを活用した EV中心の次世代型タクシー営業所の運用を開始

第一交通産業、三菱オートリースと共に、第一交通産業の子会社北九州第一交通の門司営業所と門司港営業所を中心に、電気自動車(以下「EV」)、太陽光発電設備、エネルギーマネジメントシステム*を導入する、EV中心の次世代型タクシー営業所の運用を開始しました。

門司営業所にはEV12台、充電器、太陽光発電システム、及びエネルギーマネジメントシステムを、門司港営業所にはEV6台と充電器を順次導入いたします。今後EVが本格的に普及していく世の中を見据え、大規模なEVタクシーの導入による営業所単位での運用モデルの構築を行います。特に門司営業所においては、太



陽光発電を最大限に活用し、さらなる環境負荷の軽減や走行コストの軽減、災害による停電等に対するレジリエンスの強化にも取り組んでいきます。

※太陽光発電時にEVの充電タイミングをシフトさせ、太陽光発電 の電力を活用してEV充電を行うシステム

担当チームから

自動車・モビリティグループ モビリティ事業本部 モビリティEX推進部 国内チーム

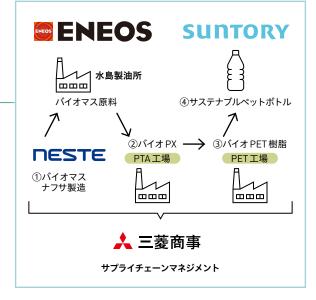


燃料価格の高騰やLPガススタンド減少等のタクシー業界が抱える課題解決に加え、脱炭素化への先行取組に向けて、現場へ足しげく通い、ドライバーへのヒアリングや営業所長との議論・検討を何度も重ね、コスト及びCO2双方の削減に資するこれからのタクシー営業所のあり姿を描いてまいりました。その結果、EVリースを基軸に今夏より次世代型タクシー営業所の運営を開始しています。本件を通じて得られる知見やノウハウを基に、今後は三菱オートリースと共に、第一交通産業をはじめとしたタクシー業界全体のEV化に取り組んでいきたいと思います。

サステナブルペットボトルの サプライチェーン構築

サントリーホールディングス及びENEOSと、 使用済み食用油などバイオマス資源由来の、 サステナブルペットボトル*のサプライチェーン 構築について合意しました。

脱炭素社会の実現に向け、ペットボトルはバイオ化による対応が重要になると想定されています。ペットボトルの原料であるPET樹脂は、主原料の30%を占めるエチレングリコールのバイオ化は進められているものの、残り70%のパラキシレン(PX)から製造されるPTAのバイオ化に課題がありました。ENEOSにて従来石油由来のナフサから製造されるPXをバイオ化することで、石油由来製品に比べて大幅にCO2が



削減できる見込みです。バイオPXは、2023年中にペットボトル約3,500万本に相当する数量を製造予定。2024年からサントリーのサステナブルペットボトル原料として活用されます。

※マスバランス方式を活用

担当チームから

化学ソリューショングループ リファイナーケミカル部、 次世代エネルギー部門 LPG・石油原料事業部



商業規模でのPXのバイオ化は世界初の試みで、配慮すべき 事項が多くありました。製造現場の人権や労働環境に配慮され た原料の選定、カーボンフットプリント計算方法の妥当性の確認 等を行うのは困難でしたが、パートナーと一つのビジョンを共有し、 建設的なコミュニケーションができたことで、実現に至りました。 本スキームはペットボトルだけではなく幅広いプラスチックの低 炭素化につき品質を損なうことなく実現できるため、高機能素材 やリサイクルが困難な素材を使用している多くの産業の課題解 決に寄与できると考えており、さらなる導入を推進してまいります。

10